

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号
------	-------	---

氏 名 柴田 賢一

論 文 題 目

Relationship between obesity and age in the progression of
new lesion after percutaneous coronary revascularization

— A retrospective cohort study —

(経皮的冠動脈血行再建術後の新規病変の進行における肥満と
年齢の関連—後ろ向きコホート研究—)

論文審査担当者

主 査	名古屋大学教授	内山 靖
	名古屋大学教授	近藤 高明
	名古屋大学教授	山田 純生

論文審査の結果の要旨

冠動脈疾患に対する経皮的冠血行再建術(PCI)は確立した治療法の一つである。

PCI 後のステント再狭窄は、術後 1 年後以降は 2%程度にとどまるが、治療部位以外の新規病変(non TLR)の進行による再血行再建は 2 年以内に 4-21%程度と報告されており、冠危険因子の是正による予防が重要となる。

そこで本研究では、これまで他の冠危険因子の原因ともなっている肥満に注目し、肥満の程度は年齢にも影響していることから異なる年齢層において肥満が PCI 術後の冠動脈新規病変に及ぼす影響を明らかにすることを目的とした。

A 病院におけるコホート研究として、3 年間に PCI を受けた 20 歳以上の者のうち除外基準に該当せず 2 年間のフォローアップが可能な者を対象とした。その結果、選択適合基準に合致した者は 711 名であった。対象者の年齢、性別、狭窄部位、病変枝数、併存疾患（高血圧、脂質異常症、糖尿病、慢性腎障害）、生化学データ、BMI、血圧、喫煙、内服薬（スタチン、インスリン、β 遮断薬等）と non TLR の発症率を比較した。

本研究の新知見と意義は要約すると以下のとおりである。




1. non TLR による再建術を受けた者は 97 名(対象者の 13.6%)で、年齢($p=0.9859$)、BMI($p=0.05$)に両群間で有意な差はみられなかった。
2. 70 歳以上の者を高齢群、70 歳未満の者を中年群としてそれぞれ肥満の有無で比較したところ、HDL-c、Hb1c、経口糖尿病薬、高齢群では HDL-c で有意な差がみられた。
3. non TLR 発症率は、中年群では肥満者の発症率が 19.5%と肥満でない者の発症率 8.7%と有意に高かった。他方、高齢群では、肥満者 12.5%、非肥満者 15%と違いはみられなかった。

2 年間の追跡による non TLR 発症率は 1 年以内で 9.5-16%、2 年間では 21%程度と報告されており、本対象群の 13.6%という発症率は LDL を低い値でコントロールできていたことが一つの要因と考えられた。肥満が non TLR の発症に及ぼす影響は年齢によって異なり、高齢者では脂肪組織から分泌されるアデポネクチンの作用や併存疾患の影響を含めた因子をさらに検討する必要性が示唆された。

なお、本研究の主な成果は、International Heart Journal (Impact factor 1.906)に Obesity may not be a risk of non-target lesion revascularization in the elderly patients – A retrospective cohort study- として掲載されている。

以上の理由により、本研究は博士（リハビリテーション療法学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※第	号	氏名	柴田 賢一
試験担当者	主査	名古屋大学教授 内山 靖 	名古屋大学教授 近藤 高明 	名古屋大学教授 山田 純生 
<p>(試験の結果の要旨)</p> <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢と肥満ならびに性差の影響について 2. 肥満にかかわる脂肪細胞や代謝との関連について 3. 体重の経年変化との関連について 4. 運動介入の効果について 5. 重症化ならびに再発予防に対する理学療法の役割について <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、リハビリテーション療法学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				